



会津医療センターから こんにちは！



【25】副センター長兼附属病院長
大田 雅嗣

『棟方院長の思いを胸に』

会津医療センター副センター長兼附属病院長を拝命した大田雅嗣です。棟方充前病院長が道半ばで平成31年4月26日に御逝去され、後任として令和元年5月20日に発令を受けました。重責に身の引き締まる思いです。

棟方先生には、旧県立会津総合病院に会津医療センター準備室が設置された平成22年4月から、新病院の組織作り、病院運営についてご指導いただきました。元病院長の鈴木啓二先生の指揮のもと、近隣の医療機関との連携を図り、専門性を生かした高度先進医療を提供することにより、会津で完結できる医療を実践してまいりました。さらに患者支援センター、看護専門外来の開設等で、地域の方々に対して、よりきめ細やかな包括的支援サービスが提供できるようになりました。会津地域の皆さまの健康増進・健康長寿のため、院内での医療スタッフによる「健康講座」、公民館や集会所での「出前講座」を数多く開講し、好評をいただいております。

次のステップとして、会津医療センターならではの情報をさらに発信して行きたいと考えております。会津の文化・風土を生かした産学協同の取り組み、ICT（情報通信技術）社会を見据えた他大学との医用工学に関する共同研究を推し進めてまいります。

当センターは平成25年5月12日に開設し丸6年が経ちました。今後も各診療科・部門が最善の医療を提供してまいります。人口減少・高齢化の問題が顕在化した現在、医療のあり方を考え直す時がきました。会津という地域の特性に配慮した医療をどう推し進めるか、この4月に総合内科学講座に地域医療のエキスパートである山中克郎教授をお迎えしましたので、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

「地域医療の福島モデルを創生する」という棟方先生の遺志を全職員で受け継ぎ、会津医療センターをさらに発展させるため誠心誠意取り組んでまいります。これからも会津医療センターをよろしく願います。